

### 癌切除症例における細胞亜型と予後との検討

佐賀医大内科呼吸器 日浦研哉  
黒木茂高, 青木洋介, 加藤 収  
山田穂積  
同 外科 伊藤 翼

高分化型腺癌18例を, columnar type (7例) cuboidal type (11例)に分けた. 免疫組織学的には, 両 type に差はみられなかった. 5年生存例は, cuboidal type 11例中1例, columnar type 7例中4例であった.

### 52. 肺扁平上皮癌と肺腺癌の生物学的特性(核DNA量)の差異について

大分県立病院胸部血管外科  
山岡憲夫, 内山貴堯, 谷口英樹  
森永真史, 山崎直哉  
肺癌のsq 87例とad 122例の核DNA量を比較した. aneuploid (AP)の頻度はsq 74%, ad 84%で, 両者共 APの予後が有意に不良であった. sqは腫瘍径の大小に関わらず APの頻度は一定だが, adは腫瘍径が大きいほど高率で, 両者の腫瘍発育と悪性度との関連性に差があると思われた.

### 53. モノクロナール抗体 Ki-67による非小細胞性肺癌の生物学的悪性度の検討

長崎大第1外科 田川 泰  
川副直樹, 赤嶺晋治, 小林誠博  
遠近裕宣, 糸柳則昭, 原 信介  
川原克信, 綾部公懿, 富田正雄  
Ki-67抗体を用いて, 非小細胞性肺癌の免疫組織染色を行い Labelling Indexを算出し癌細胞レベルにおける生物学的特性と臨床病理学的諸事項を対比した. Ki-67抗体による Labelling Indexは Mitotic Indexとよく相関し, 臨床病理学的な所見では組織型および分化度との間に特徴を示したが, n factorとの関

連性を認めることはできなかった. 今後, 生物学的悪性度としての予後との関係を検討する一参考事項を検討した.

### 54. 特異なX線像を形成した肺嚢胞合併肺癌の1例

国療沖縄病院外科 石川清司  
源河圭一郎, 国吉真行  
久見忠男, 下地光好, 板東 徹  
症例は, 46歳の重度喫煙者, 男性. 左肩の疼痛を訴えて来院. 胸部X線像上, 左上肺野に鏡面形成を伴う Giant bullaがあり, その基底部分(S<sup>9</sup>)および左前縦隔に腫瘤陰影を認めた. S<sup>9</sup>発生の腺癌が嚢胞壁と上葉への肺内転移を形成していた.

### 55. 薄壁空洞を呈した肺大細胞癌の1例

国立福岡中央病院外科  
竹尾貞徳, 下田幸嗣, 平山善章  
古山正人  
71歳男性. 検診で胸部X線写真上異常陰影を指摘. 症状なし. 右下肺野に径3cm大の薄壁空洞を有する coin lesionを認めた. 空洞の壁の厚さは1.5mmで, 偏在性で, 組織型は大細胞癌であった. 本症例の形成機序, 文献的考察を含め, 報告した.

### 56. 骨形成性骨転移がみられた女性肺腺癌の1例

健保諫早総合病院内科  
宮崎幸重, 坂本 晃  
症例は66歳, 女性. 右前腕の腫脹と疼痛, 右腸骨部痛にて紹介入院. 左胸水と左 S<sup>10</sup>に径2cmの円形陰影を認めたが, 他には乳癌, 消化器癌, 甲状腺癌等は指摘できなかった. 骨レントゲンで, 多発性の著しい骨形成が認められ, 肺腺癌の骨形成性骨転移と思われた. 左上腕の病的骨折部位の病理学的検索でも, 肺腺癌の骨形成性骨転移と

考えられた.

### 57. 心筋転移により肺動脈狭窄を来した肺巨細胞癌の1例

大分医大第2外科 近間英樹  
田中康一, 佐藤邦彦, 中城正夫  
宮本伸二, 木村龍範, 重光 修  
岡 敬二, 森 義顕, 高崎英己  
葉玉哲生, 内田雄三

肺癌の心筋転移は, 生前に診断される事は稀である. 我々は肺癌術後の経過中に突然心不全を来し, 心エコーにて心筋転移を認めた症例を経験したので報告した.

### 58. 中枢神経症状を初発とした原発性肺癌7例の臨床的検討

熊本地域医療センター呼吸器内科 中村博幸, 柏原光介  
田島博之, 深井祐治, 千場 博  
同 脳外科 三浦正毅  
同 放射線科 吉岡仙弥  
同 病理 蔵野良一

最近我々は中枢神経症状を初発とした原発性肺癌7例を経験したので文献的考察を加え報告した.

### 59. 癌性髄膜炎にて発症した肺癌の1例

国立長崎中央病院 山中淳子  
西 靖子, 前田和成, 峯 豊  
森山忠良, 藤井秀治  
松岡陽治郎, 天本祐平

症例は59歳, 男性. 視力低下, 頭痛, 嘔気, 嘔吐を主訴に来院. うっ血乳頭を認めるも, 頭部CTでは異常は認めなかった. 腰椎穿刺を施行し癌性髄膜炎と診断した. 右肺 S<sub>3</sub><sup>a</sup>に異常陰影を認め, 精査の結果, 肺原発の腺癌と診断した. 胸椎に転移を認めた. メソトレキセートの髄腔内注入と全身化学療法を行ったが, 効果はみられなかった. 本例では癌性髄膜炎が肺癌の初発症状として出現してお